

# 和歌山県の交流人口を増やす方法

～データから分かる理想のキャンプ場～

チーム名 H.R.T.Yamada

家吉	晟礼・伊賀	康将・榎本	直土・塩崎	奏聡
出口	遥香・寺井	梨華・中川	風希・宮崎	正惟

# 目次

1. 着目した施策
2. 現状
3. 交流人口の増加に必要な要素
4. まとめ

# 目次

1. 着目した施策

2. 現状

3. 交流人口の増加に必要な要素

4. まとめ

# 着目した施策

和歌山県の自然を生かす  
ことのできる施策とは？

感染症対策と相性の良い  
施策とは？

# 着目した施策

和歌山の自然 × 感染症対策

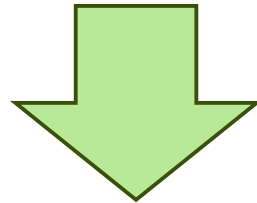
= キャンプ

# キャンプとは

- ▶ **自然環境の下で，生活したり宿泊したりすること**
- ▶ **三密を回避しやすいレジャー**

# 本研究の流れ

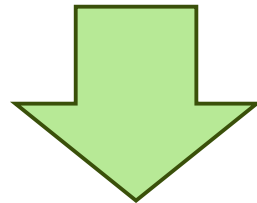
交流人口の増加に必要な要素は何だろう？



アンケート調査

既存データ

分析



理想のキャンプ場

# 本研究の新規性

**実施内容：** 研究前にインターネット等を使って、文献を調査

**実施結果：** キャンプ場の立地や施策がもたらす効果を定量的に評価している文献が見当たらなかった。

本研究には、**新規性**がある



# アンケート調査の概要

## 調査の目的

- 交流人口の増加に必要なキャンプ場の具体的な要素を明らかにする。

## 調査日・調査方法

2023年6月(電話, メールを用いた質問)

## 調査対象者




和歌山県内の全キャンプ場

## 返答状況

- 調査対象のキャンプ場の数 : 81か所
- 回答を得られたキャンプ場の数 : 12か所
- 回答率 : 14.8%

# アンケート調査の概要

## 質問内容

-  過去5年分の利用人数
-  利用人数の内の県外の割合
-  感染症対策

# 既存データによる調査項目とデータ出典

調査項目	データ出典
①周りの自然	Google マップ
②付属施設	各キャンプ場のホームページ
③近くのスーパーまでの距離	Google マップ
④キャンプ用具の貸し出し	各キャンプ場のホームページ
⑤宿泊施設	各キャンプ場のホームページ
⑥SNSの利用	各キャンプ場のホームページ
⑦ペットの受け入れ	各キャンプ場のホームページ
⑧料金	各キャンプ場のホームページ

# 分析の概要

## 既存データから作成

- ① 周りの自然
- ② 付属施設
- ③ 近くのスーパーまでの距離
- ④ キャンプ用具の貸し出し
- ⑤ 宿泊施設
- ⑥ SNSの利用
- ⑦ ペットの受け入れ
- ⑧ 料金

## アンケート調査

- ⑨ 感染症対策



交流人口の増加に必要な要素を分析

# 目次

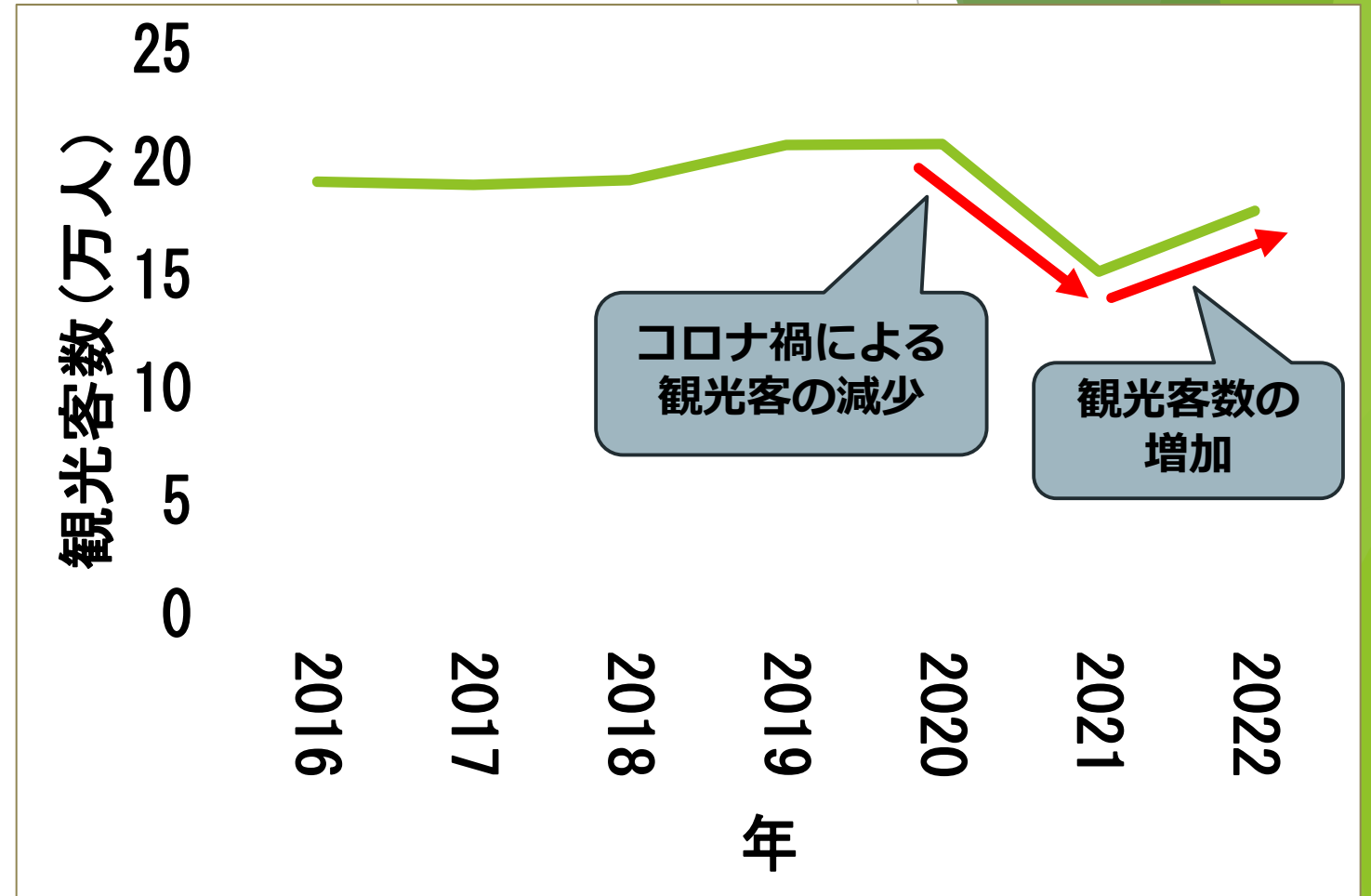
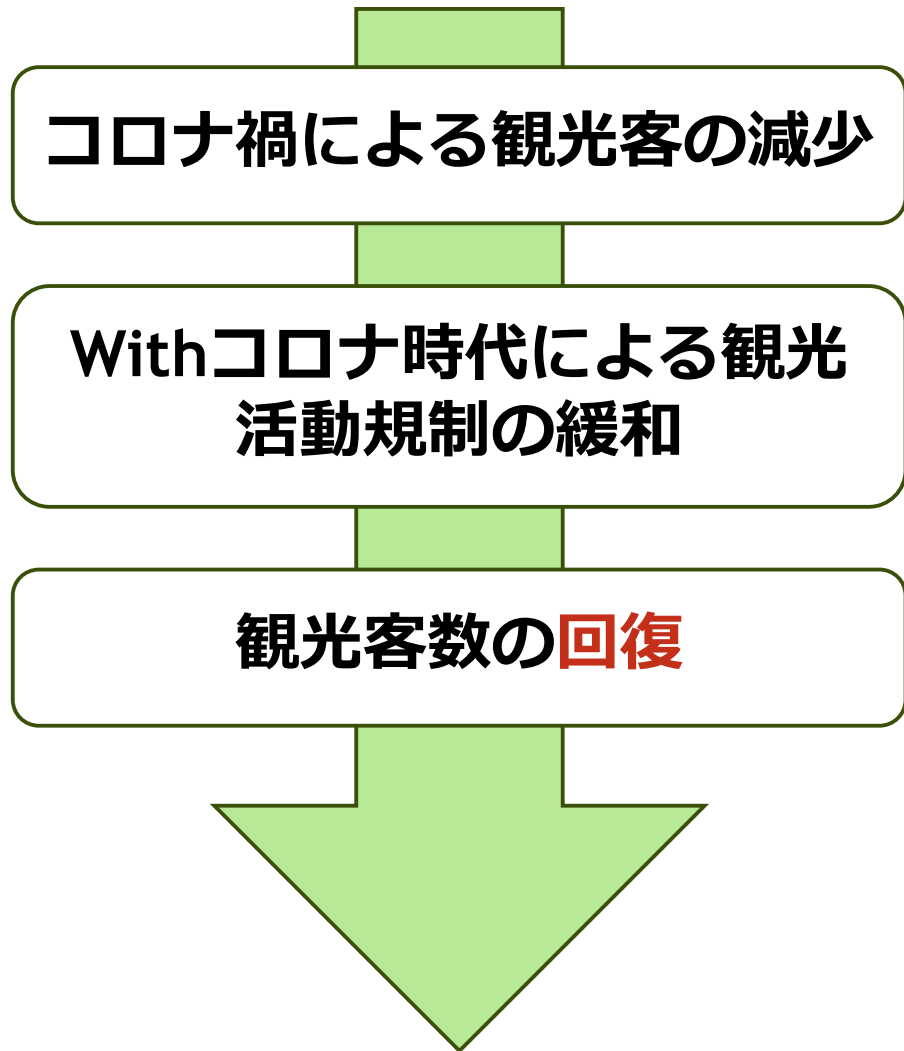
1. 着目した施策

2. **現状**

3. 交流人口の増加に必要な要素

4. まとめ

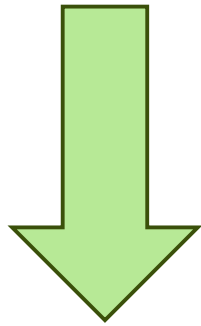
# キャンプのみの観光客数の推移



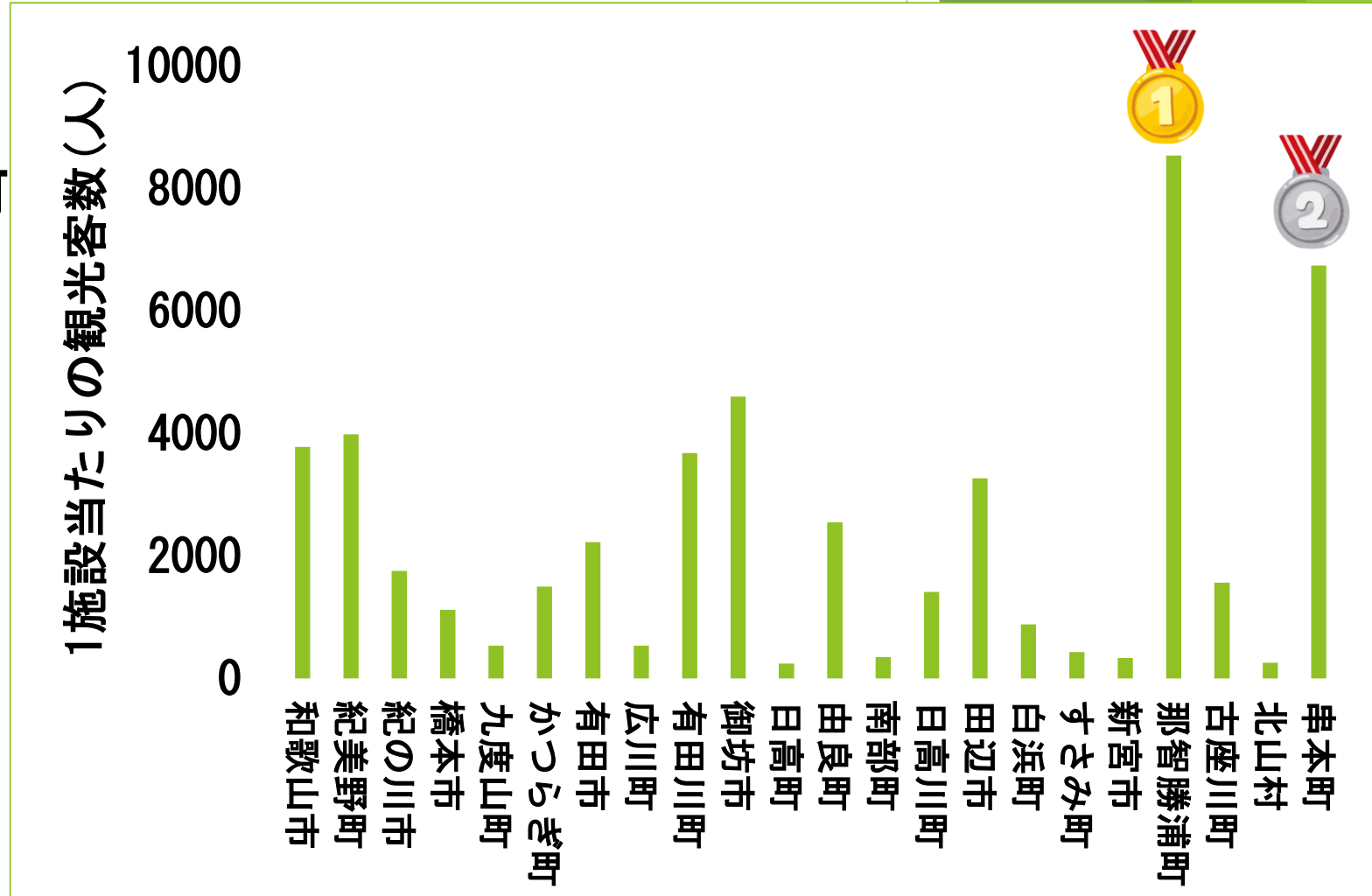
出典) 和歌山県：和歌山県観光客動態調査報告書  
平成27年～令和3年

# キャンプの地域別観光客数

最も多い市町村・・・那智勝浦町  
2番目に多い市町村・・・串本町



**紀南**に多くの観光客



出典) 和歌山県：和歌山県観光客動態調査報告書，令和3年

# 目次

1. 着目した施策

2. 現状

**3. 交流人口の増加に必要な要素**

4. まとめ



# 本研究の交流人口

交流人口 = 利用人数 × 県外の割合

キャンプ場	利用人数 (人)	県外の割合(%)	交流人口 (人)
①	3181	73	2322
②	2050	90	1845
③	9933	83	8244
④	9750	86	8385
⑤	15771	88	13878
⑥	2500	80	2000
⑦	7881	99	7802
⑧	600	60	360
⑨	3097	83	2571
⑩	600	80	480
⑪	854	91	777
⑫	337	83	280

平均80%以上が県外の利用客

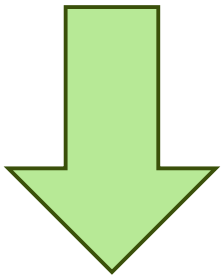
# 交流人口の増加に必要な要素

## ①立地に関する要素

# 1.周りの自然

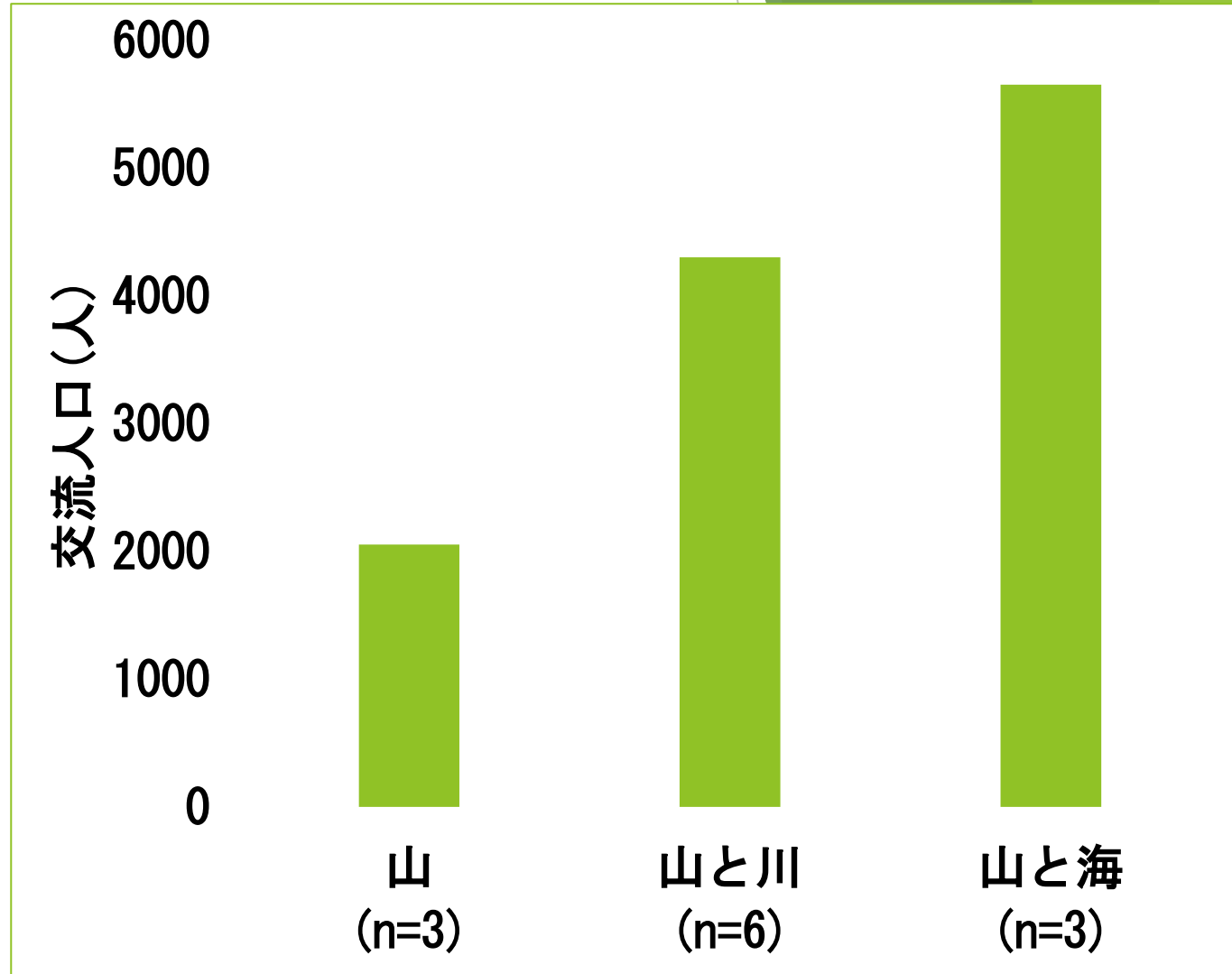
キャンプ場周辺の自然と交流人口の関係を調べた。

→山と海が周辺にあるキャンプ場が多くの交流人口を集めることができる。



交流人口の増加に必要な1つ目の要素

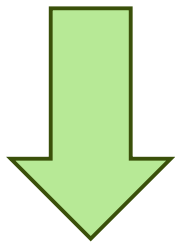
山と海が共存したキャンプ場であること



## 2. 付属施設

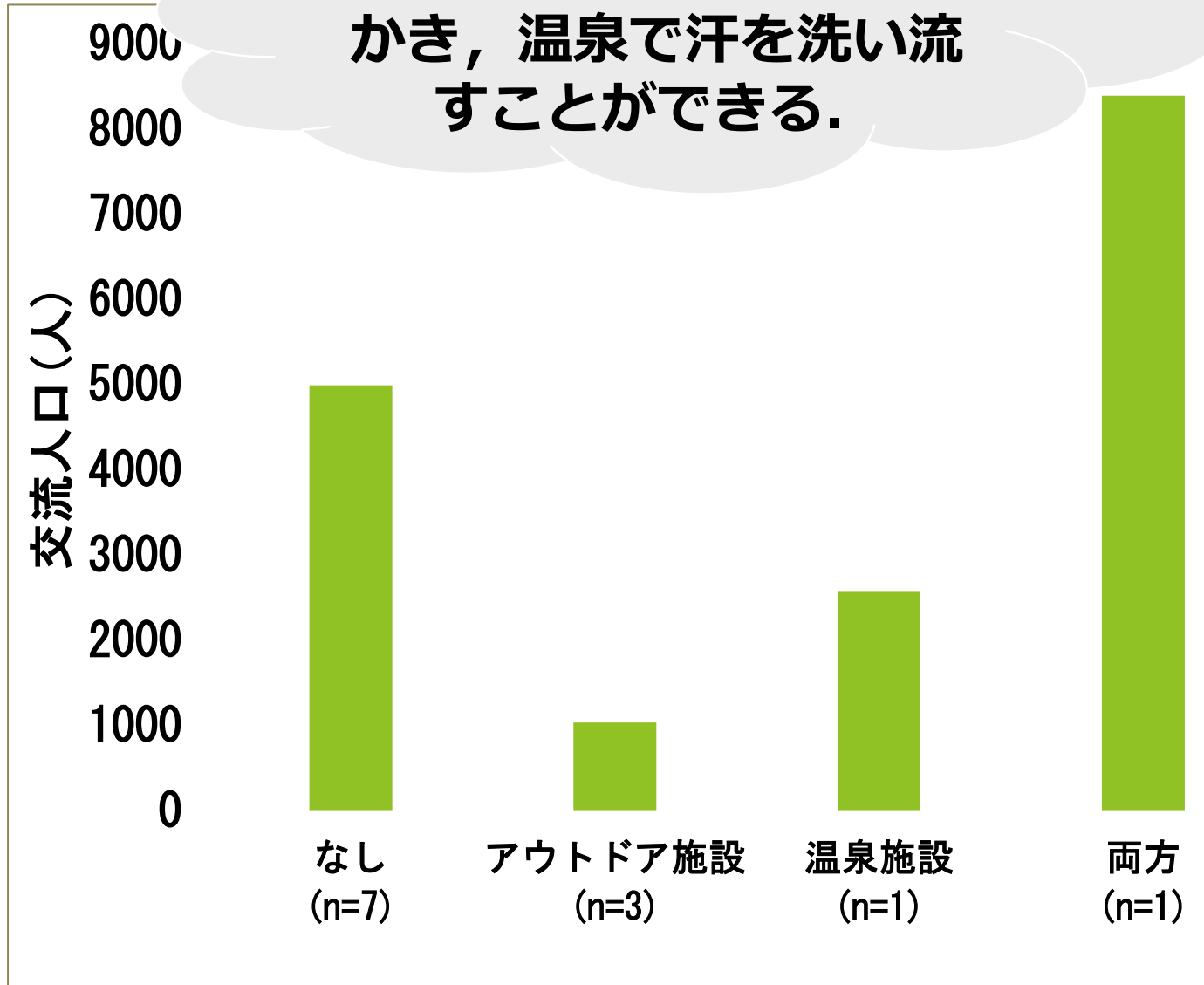
アウトドア施設・・・公園、テニス場

両方（アウトドア施設と温泉施設）を併設しているキャンプ場の交流人口が最も多い。



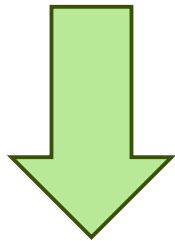
交流人口の増加に必要な2つ目の要素

**温泉とアウトドア施設を併設する**



### 3. 近くのスーパーまでの距離

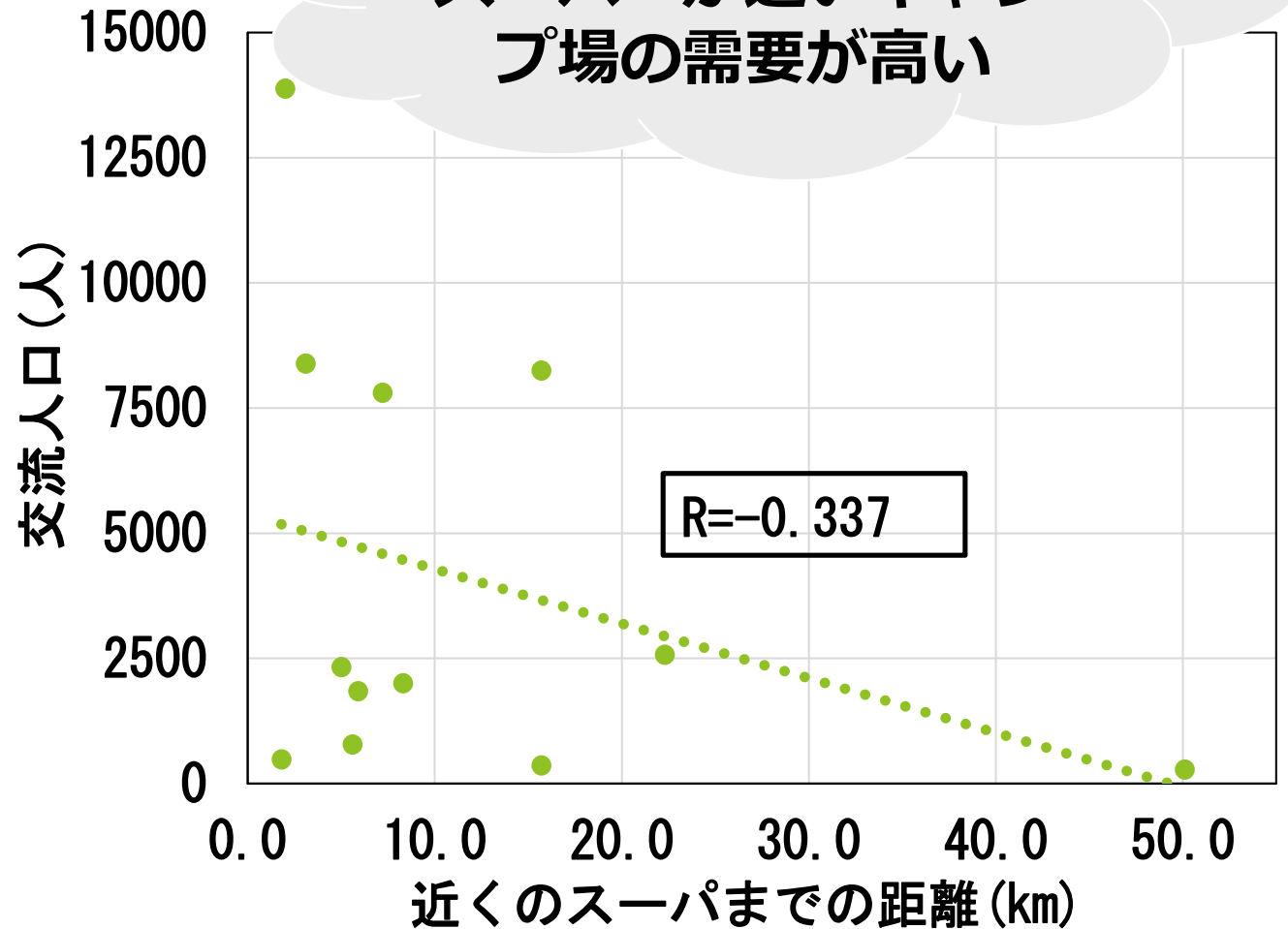
近くのスーパーまでの距離と  
交流人口の関係を散布図で表  
すと相関係数は約-0.337とな  
り負の相関関係が見られた。



交流人口の増加に必要な3つ目の要素

**スーパーが近くにあること**

キャンプでBBQをする  
キャンパーが多く、  
スーパーが近いキャン  
プ場の需要が高い

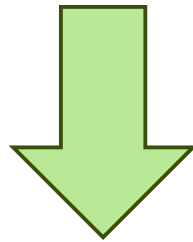


# 交流人口の増加に必要な要素

## ② 施策に関する要素

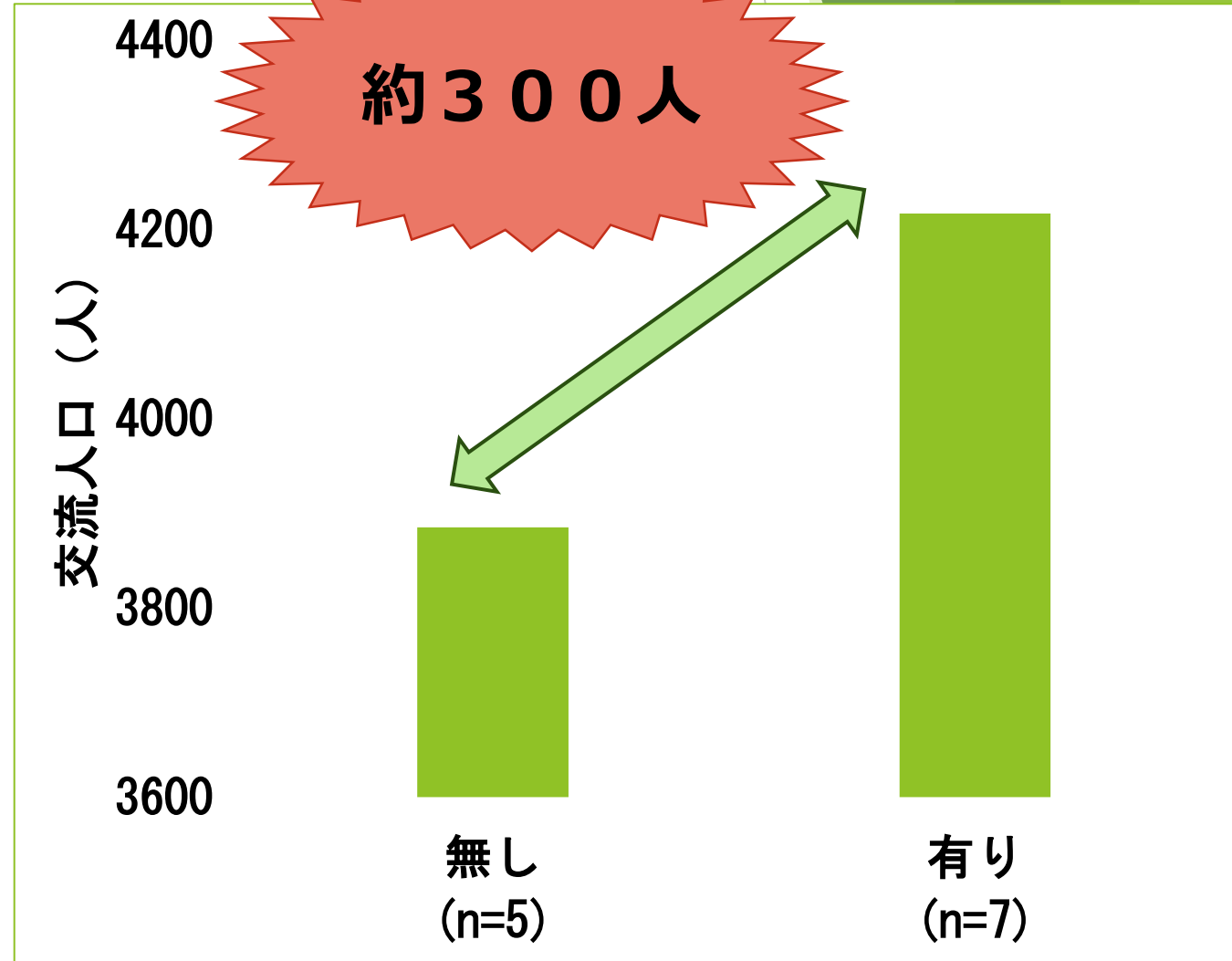
# 4. キャンプ用具の貸し出し

キャンプ用具の貸し出しを行っている方が約300人多い



交流人口の増加に必要な4つ目の要素

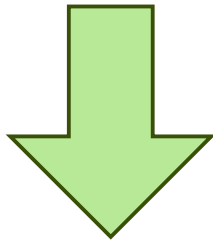
キャンプ用具の貸し出しを行うこと



## 5. 宿泊施設

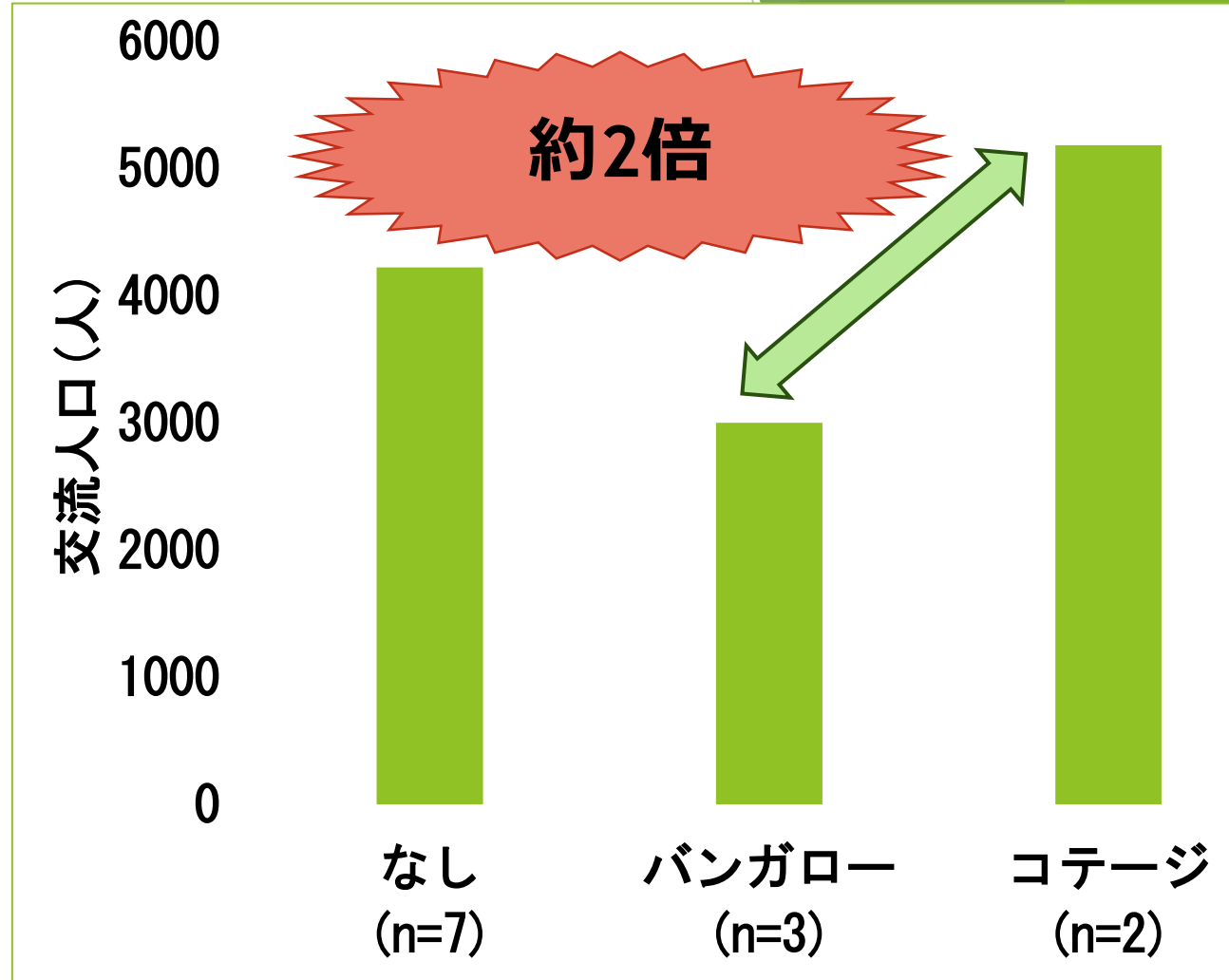
コテージ付きのキャンプ場の交流人口が最も多い。

バンガロー付きよりコテージ付きのキャンプ場の方が約2倍交流人口が多い。



交流人口の増加に必要な5つ目の要素

**コテージを設置すること**



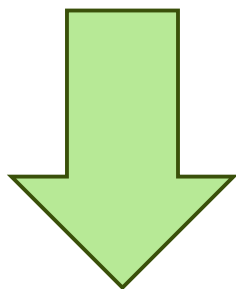
バンガロー：料金は安いですがトイレやエアコンなどの設備が整っていない。

コテージ：料金は高いですがトイレやエアコンなどの設備が整っている。



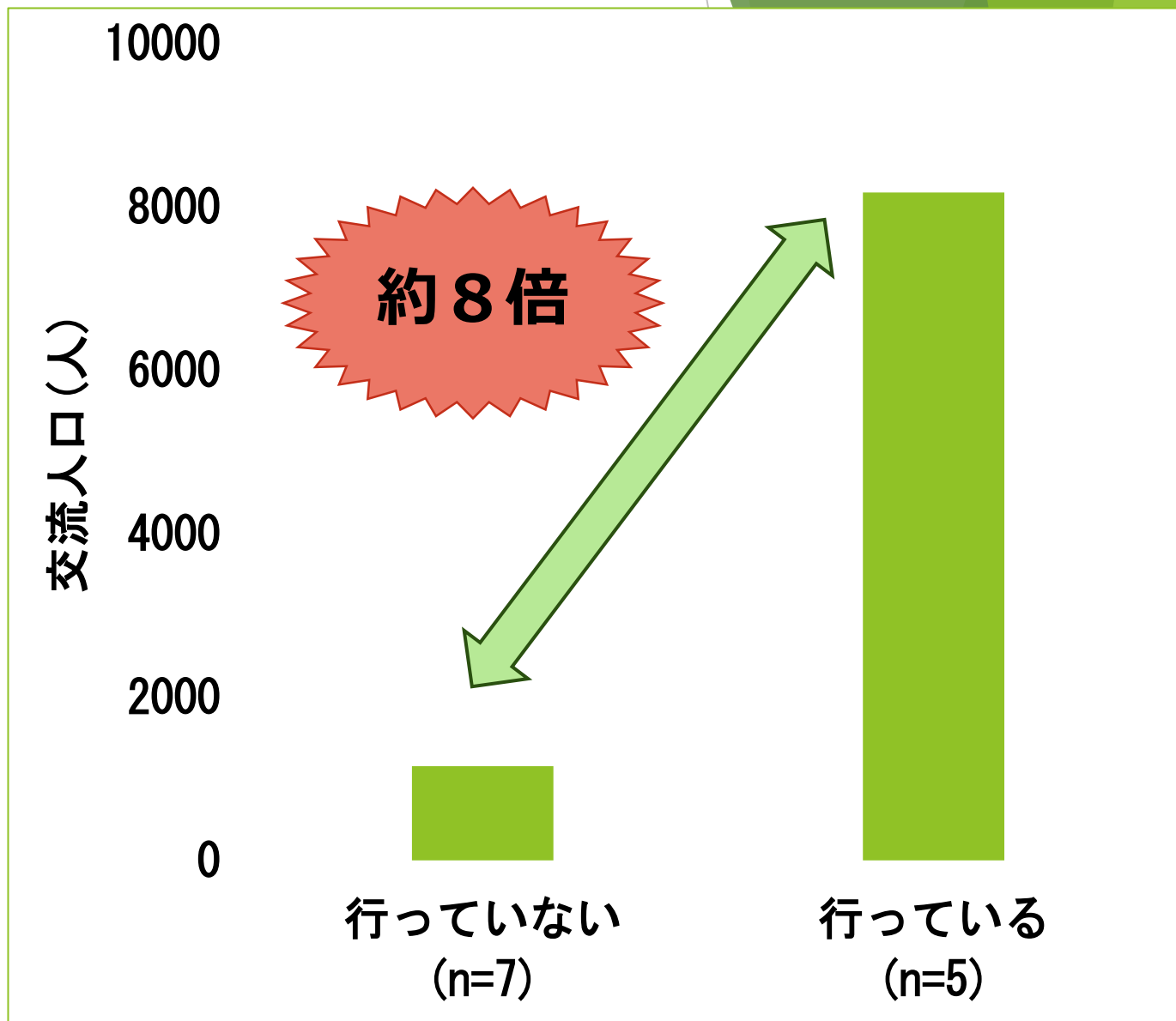
## 6.SNSによる誘客

SNSによる誘客を行っている  
キャンプ場が約8倍多い。



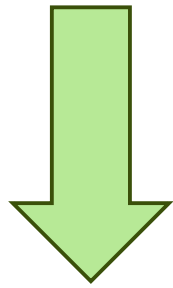
交流人口の増加に必要な6つ目の要素

**SNSによる誘客を行うこと**



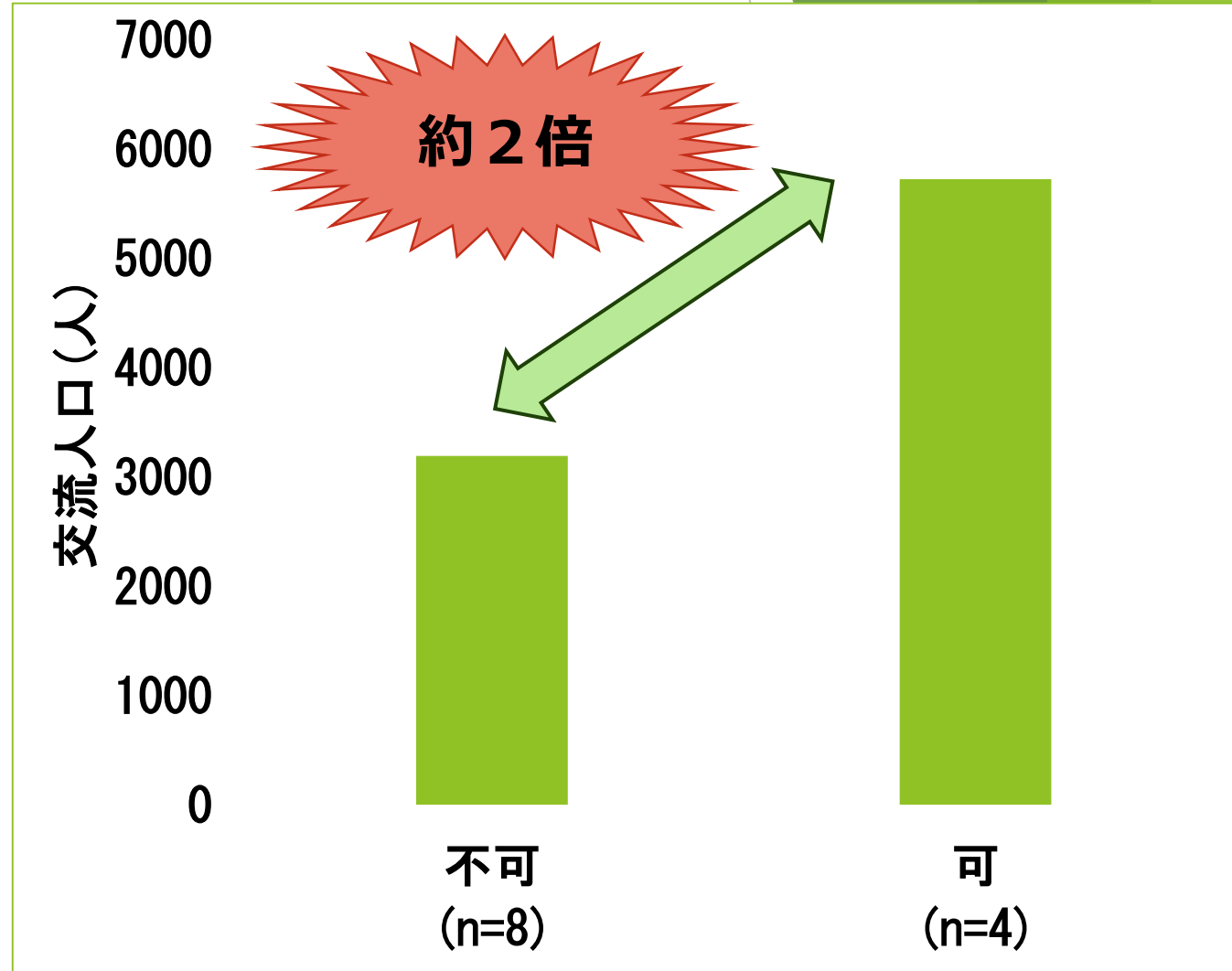
# 7.ペットの受け入れ

ペットの受け入れを許可している方が交流人口が約2倍多い。



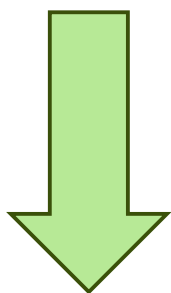
交流人口の増加に必要な7つ目の要素

**ペットの受け入れを許可すること**



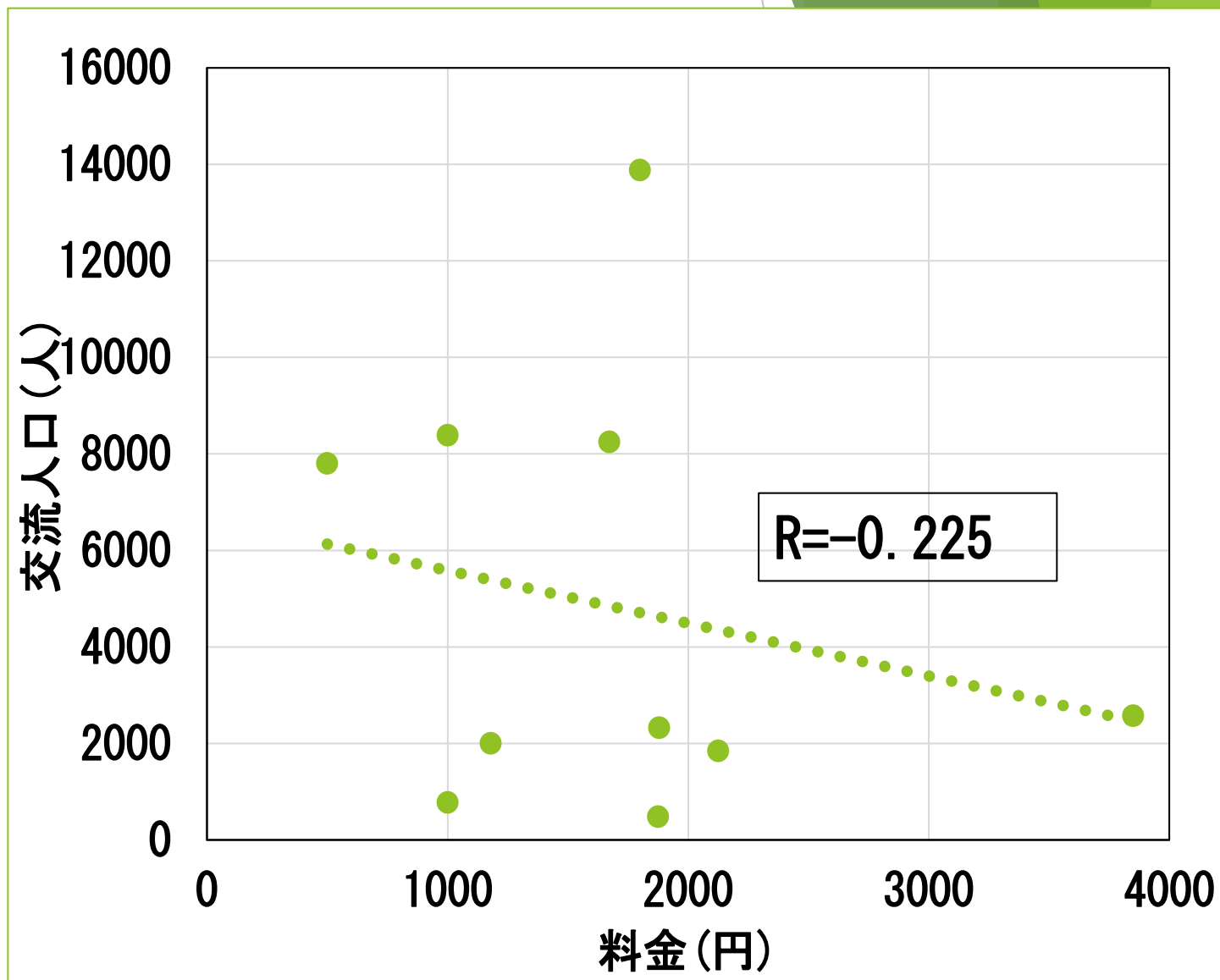
## 8.料金

料金と交流人口の関係を散布図で表すと相関係数は約-0.225となり負の相関関係が見られた。



交流人口の増加に必要な8つ目の要素

**料金を低く設定すること**

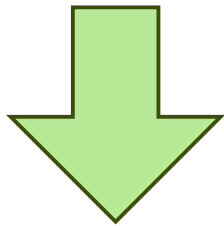


# 9.感染症対策

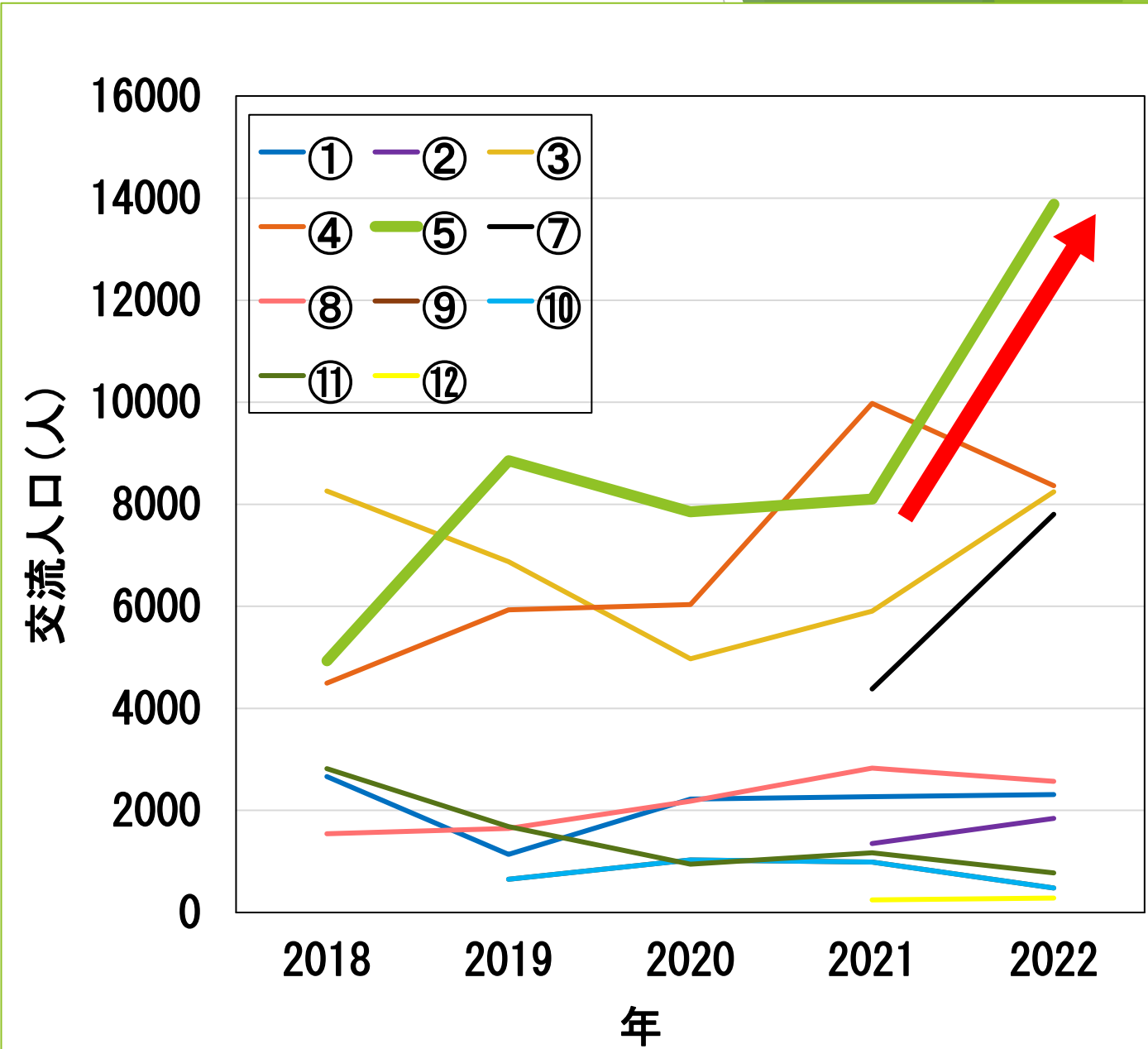
調査したキャンプ場の全てが次の2つの感染症対策を行っていた。

- ・ 消毒液
- ・ アクリル板 の設置

Withコロナ時代において最も交流人口の増加率が高い⑤のキャンプ場はさらに**コロナ対策認証マーク**を取得していた。



交流人口の増加に必要な9つ目の要素  
**コロナ対策認証マーク**を取得すること



# コロナ対策認証マークとは？

## 目的

- ・事業者の感染症予防対策の促進
- ・県民が安心して施設を利用できる環境の整備

県が各施設の「業種ごとの感染拡大予防ガイドライン」の遵守状況について調査のうえ、認証した施設に交付されるもの。

和歌山県新型コロナウイルス  
感染症予防対策認証施設



当施設は「業種ごとの感染拡大予防ガイドライン」による基準に適合した対策を実施しております。

和歌山県

# 目次

1. 着目した施策

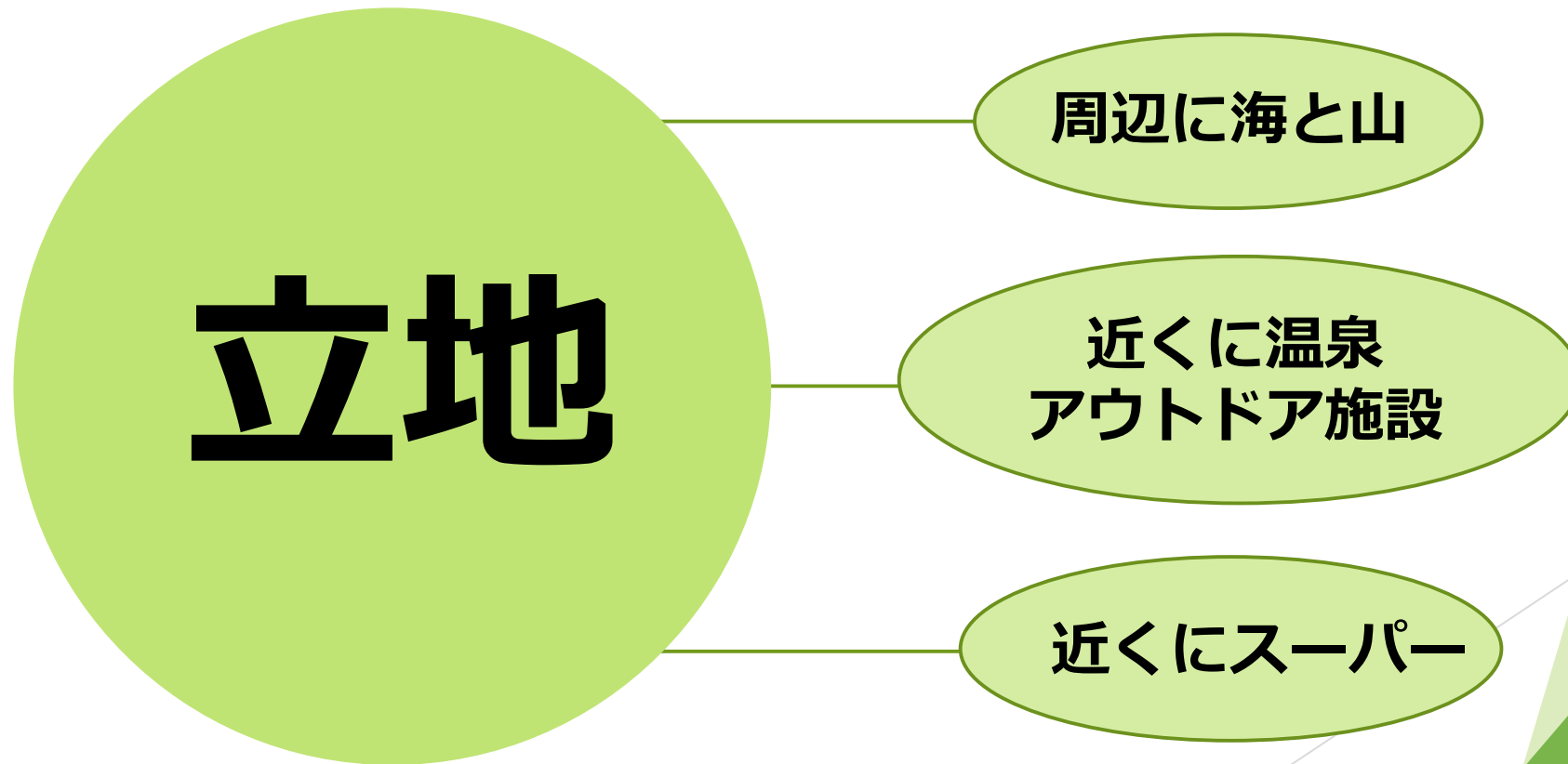
2. 現状

3. 交流人口の増加に必要な要素

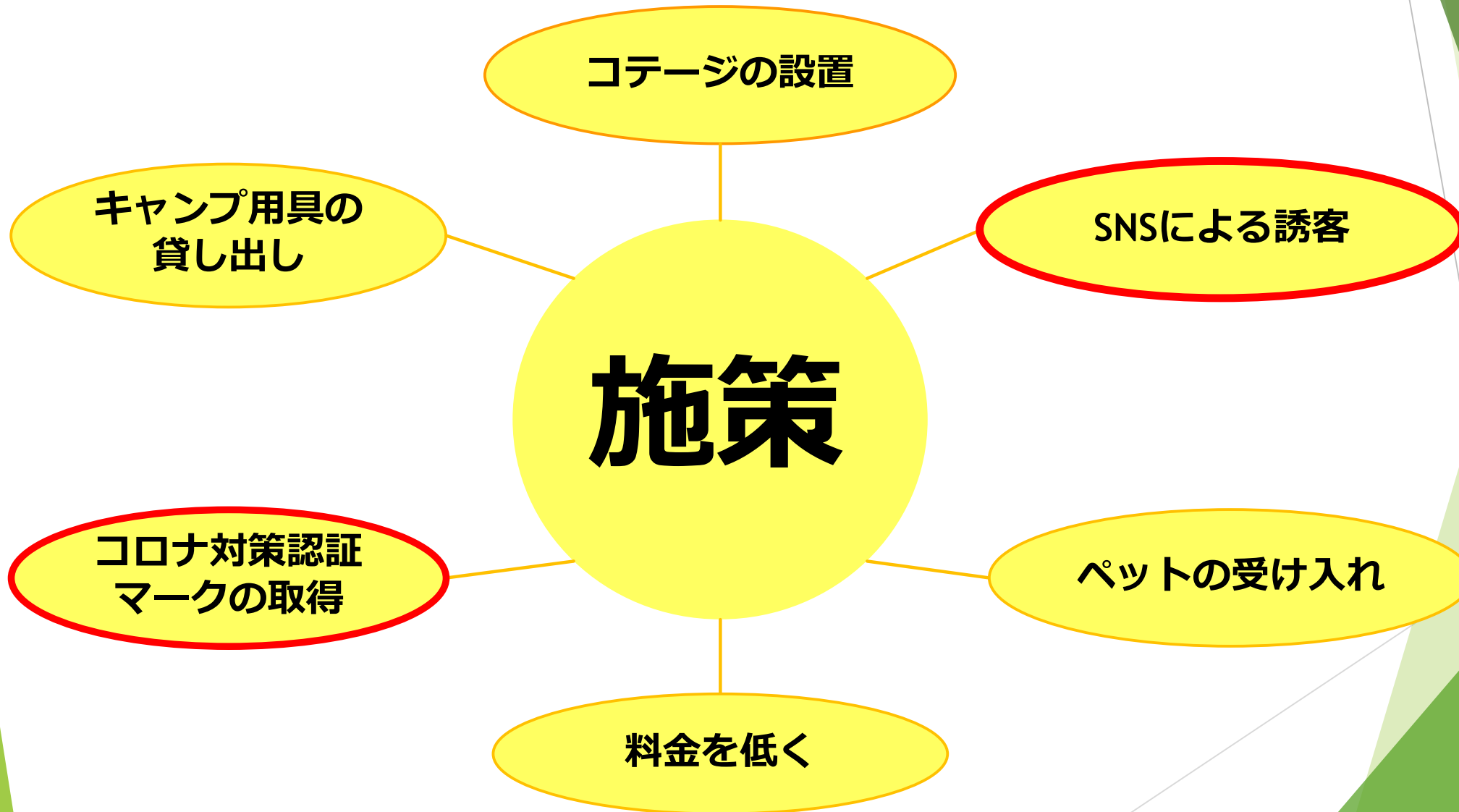
4. まとめ

# 交流人口の増加に必要な9つの要素

## 立地に関する3つの要素



# 施策に関する6つの要素





# 理想のキャンプ場

## 理想の キャンプ

立地

施策

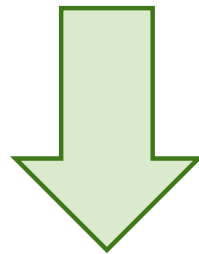
# 今後の発展

## 課題

- サンプル数が少ないこと。
- 和歌山県のみを対象にしていること。

## 今後の取組

- 対象を全国に広げて、追跡調査を実施する。



**本研究の妥当性を検証する**